

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第38号

2015.11.17 (火) 発行

鈴木晃彦先生 ご講演ありがとうございましたII

文責 横山 伸一



11月13日(金)1年生進路講演会を行いました。鈴木先生からは講演中「1年生諸君の話聞く姿勢や表情、リアクションは大変良い」というお言葉を頂きました。学年主任としては「本当か?」という疑念(?)もあり、その日の先生との夕食時にお聞きしたところ「全国を講演で廻っているが大変良い」「今後大いに期待できる」と太鼓判を頂きました。君達が褒められることは、我が事のように

嬉しいものです。この日は夜更けまで先生と教育について語り合いました。ありがとうございました。

1組 S. T さん

先生が話して下さった言葉に『「～になりたい」ではなく「～になる」と言いなさい』というのがありました。この言葉が私にとって1番印象に残りました。今までの自分を振り返ると100%のうち、99.99...%「～になりたい」と言っていたと思います。—「～になりたい」だと逃げ道を作ってしまう。—まさにその通りです。過去の自分はそうでした。その過去の自分は先生の話聞いたときに消えて、今は「～になる」と決心した新しい自分になりました。(～は書かないでおき、なったら先生に連絡したいです(^-^)) 実現するため「凡事徹底」「文武一同」を頑張っていきます。

Today, I was very very very happy to meet My.Suzuki !!!

Today is thank you very much ! (文法を気にせずに思ったまま書きました。間違っていたらすみません)

2組 K. D さん

今回が、人生で1番良かった講演でした。まず、私は覚悟を持ち、夢はなりたくないではなく「なる!」と宣言します。私は明確な夢が無いので、日々の先生からのメインディッシュを残さずおいしく頂き、志望する大学に合格するための力をつけ、必ず合格します。また、たまにその大事な授業が辛く嫌になることもあります。しかし、3年間で45.2%しかフルで授業を受けられないかと思うと、そんなことを考えていられないとわかりました。これからは、つむじ学習をしないで、先生の目を見て授業に参加します。また「聞く」ではなく「聴く」にします。具体的な話で、夢が無いと言いつつも、実際に将来は「外国語学部」か「経済経営学部」を受験するつもりでいます。そのために、私は英語と社会に力を入れていきます。このように、今回の講演で私はとても変わりました。今までは、必ずどんなに小さくとも逃げ道があったはずですが、今はありません。有言実行できるよう、日々努力します。今日は本当に良かったです。最後に、鈴木先生の授業を受けたいです。



3組 K. S さん



私は鈴木先生の授業をおいしく頂くことができました。“生きているのだから、どう生きるのかをしっかりと考える”そこから、とても大きなパワーと勇気が出てきました。今まで僕は大学やその先の進路についていつも悩んでいて、妥協する面が多くありましたが、せっかく生きているのだから上へ上へを目指していけばいいじゃないか、と思い気楽になり、そして意欲がわいてきました。先生の震災直後の入学式の話に感動しました。今まで以上に、自分は先生に囲まれて友人達と生活を送ることが、とても素晴らしいことなのだと強く思いました。そして今日、今まで以上に大きく先生に「ありがとうございました」と言ってみました。ありがたみがさらによくわかりました。私はこれから絶対に諦めないで生活します。先生がおっしゃったように、絶対に「できる」と思ってやります。また、夢を叶えることは、とても素晴らしいことだと思い、人のためにも自分のためにも夢を叶えられるような人間になります!本日はありがとうございました。

4組 S. R さん

感想を書いたところで何も変わらないと思うので、僕は今後どうするかを書きたいと思います。

1年2学期 模試を受けて、自分のことを知り、全国のライバル達のことを知る。定期テストで1位。

3学期 1年生で習ったことをあたり前のことにするまで復習し2年生の土台を作る。

2年1学期 誰よりも良いスタートを切る。科学の甲子園に向けて勉強する。

夏休み 部活と勉強を必死にやってライバルとの差を広げる。東大のオープンキャンパスに行く。

2学期 科学の甲子園に出場。優勝して全国大会に行く。数学オリンピックの勉強をする。

山大で講義を受けて単位を取る。

冬休み 数学オリンピック予選通過→本選出場。

3学期 基礎を固める。東大の過去問をやり始める。

3年1学期 最後の高体連で県大会出場。

2学期 ひらすら勉強。受験の準備。

3学期 東大の理科一類を受験し合格する。

→ 親や先生方に感謝し東大へ入学。 → 東大で理学部数学科に入る。

→ 東大の大学院に行く。 → 山形に戻ってきて高校の数学の先生になる。

→ 恩師である坂野先生や横山先生よりも良い先生になる。



P S 坂野先生にS. Rさんの決意を伝えたところ大変喜んでいました。

5組 H. A さん

自分の今までの生活を見直すきっかけになりました。今日の先生の講演で自分の弱さに気付きました。今まで夢を友達などに言ったことがありませんでした。自分の中では考えていることがあっても「できなかったときに恥ずかしい」という思いばかりで自分の夢を堂々と言えずにいました。結局、自分で自分が逃げられるように逃げ道をつくっていただけでした。そんな私に先生の「努力+執念+覚悟」

5組 I. H さん

自分は、今回の講義を聞いて、「成功のために必要なのは、努力だけでは足りない」という言葉がとても印象に残りました。自分は部活動で先輩とプレーする時、いつも萎縮してしまい自分のプレーができません。そして、それを技術の向上という「努力」という形でカバーしようとしても、なかなか改善されませんでした。しかし、今回の講話を聞いて、自分には「自分のプレーに対する執念・プライド」が足りなかったことが分かりました。だから、これからは先輩に対して同じ一人のプレーヤーという意識と、「自分のプレーを見せつける」という執念とプライドを持って部活動に励みます。また、自分は講演を聞いた人の感想の「私はどこかで甘え、大学に受からないと確信していた」という言葉に強い印象を受けました。なぜなら、自分も心のどこかでそう思っていたことに気づいたからです。だから、これを機に甘いマイナスの考えをすてて、興譲館としてのプライドを持って高校3年間を過ごします。そして、「中学教師になり、サッカー部を県優勝させる」という夢を必ず実現させます。

<興譲館1年生の皆さん。お願いがあります。必ず読んでください。>

夢は見るものではなく、叶えるもの

今年（2013）の高校野球春季大会花巻地区予選でおもしろい出会いがあった。

花巻農業高校と遠野高校の試合である。両校の監督は、偶然にも私の教え子だった。どんな采配をするのだろうか？シートノックから私の妄想が始まった。まさにイチロータイプと松井タイプの高校生だった。どちらも根っこは、繊細で、努力家で夢の達成に突っ走った高校3年間を送った奴らだ。

まずは、このゲームに勝った遠野高校野球部監督。松井タイプの監督かな。釜石南高校での教え子である。春の選抜全国大会（甲子園大会）に初出場した時のチームの主将である。派手さはない。責任感は抜群。有言実行。すごい集中力。こころのゆとりがあった。花があった。私の英語の授業も一切寝なかった。着実にコツコツ取り組み自分の可能性を心底信じていた。甲子園での雨天による再試合での激闘が彼を強くした。

相手校の花巻農業高校野球部監督は、まさにイチロータイプである。当時の盛岡一高野球部の副主将だった。陽気で場を盛り上げ、ムードメーカーの役を演じていたが、頭の中はフル回転でゲームを把握し、チームメイトを鼓舞し、相手チームを冷静に観察していた。隠れての基礎トレーニング量は、半端でなかった。3年の夏の大会で外野への大飛球に飛び込んだが、グラブが届かず、敗退。「あそこで取っていれば、」と今も思うそうだ。

学校は違うが、二人とも「俺の夢は、岩手の高校の教師になって、野球部を甲子園に連れて行くこと。野球を通して、人間として成長させること。」と私に宣言していた。二人とも引退後、英語の特訓を求めてきた。お互いに真剣勝負の特別指導だった。通常の授業、放課後課外に加えてのものだった。やりきった。それぞれ、大学に進学。そして、久々の再会。素晴らしい監督になっていた。いや、磨き上げた人間性と情熱があふれる青年監督になっていた。

「おいおい、夢叶えたぞ。こいつら。監督と選手の信頼関係もバッチ・グー。テンポの良い引き締まった試合運び。その中に、監督の個性が美しくでる。まさにイチローと松井のように野球少年らしさを失わない人間になった。」とゲームを見ながら感じていた。

まだ桜の花が咲いていない遠野球場で、躍動感溢れる「人間桜」を見ることができた。実にいい連休だった。

3月	卒業式・合格発表		0	495/1095 (45.2%)	
2月	2次試験・私大入試		7	↑	173/365
1月	センター試験		16	539/1095 (49.2%)	
12月		各種学校行事	15	↑	
11月	推薦入試開始 『夢をもっともがけ』（3年）	長期課外講習	20	576/1095 (52.6%)	
10月		平常課外	22	↑	
9月	就職試験・文化祭	特別講座（県企画等）	16	591/1095 (53.9%)	
8月		模試受験・解説講座	10	want to de ...の時間と空間	
7月			16		
6月	高総体・体育祭		17		
5月			21		
4月			13		
3月			2		
2月			18		181/365
1月			16		
12月	修学旅行	各種学校行事	10		
11月	新人大会開始	長期課外講習	20		
10月		特別講座（県企画等）	22	can de ...の時間と空間	
9月	文化祭	模試受験	16		
8月			10		
7月			16		
6月	高総体・体育祭体育祭		17		
5月			21		
4月			13		
3月			2		
2月			18		185/365
1月			16		
12月		各種学校行事	15		
11月	文理コース調査	長期課外講習	20		
10月	新人大会開始 『早く染まれ』（1年）	模試受験	22	must de ...の時間と空間	
9月	文化祭	特別講座（県企画等）	16		
8月			10		
7月			16		
6月	高総体・体育祭		17		
5月	応援歌練習		20		
4月			13		

自分のために頑張れない奴が、どうして人ために頑張れるというのか！